

## (7)学 科 科 目

### 国 際 英 語 学 科

#### 国 際 英 語 専 攻

#### ■ 基盤講義

##### 211001 国際英語と女性の生き方

###### 【到達目標】

- ・ 英語圏のみならず非英語圏における英語の使用と社会的役割の諸相を多角的に理解する。
- ・ 英語の使用という観点から、女性のキャリア形成に関する諸事例を多角的に理解する。
- ・ 国際社会における英語の使用を通じて、女性のキャリア形成に関するさまざまな将来的可能性を構想することができる。

**【概要】** 国際英語は、英語圏のみならず非英語圏においても、さまざまなコミュニケーションの手段としての役割が期待される。本講義は、そうした国際英語の機能と広がりについて、その基本的な特徴や活用方法、効果的な運用事例をグローバル化する国際情勢を念頭に置いて学ぶ。併せて、このような国際英語を活用した女性のさまざまなキャリア形成のあり方について、世界各地におけるこれまでの歴史的経緯や特徴、各種の事例や現況を検討しつつ、その将来的な可能性と留意すべき諸点を多面的に考察する。

##### 211002 異文化理解A

###### 【到達目標】

- ・ 主に英語圏を対象に、文化的表象（視覚、聴覚、身体、思想など）の多様性を理解し、その特質を分析するための方法論を理解する。
- ・ 主に英語圏を対象とした、文化的表象の多様性と異文化間コミュニケーションの可能性について理解する。
- ・ 主に英語圏の生活習慣等の日常的な異文化理解の諸問題への視野を広げる。

**【概要】** 世界の多様な文化を「異文化」として認識し、その異文化を相互に理解し合い、コミュニケーションが可能となることを目標とし、特に英語圏を対象として考察する。異文化理解は生活の諸側面に及ぶが、この授業では、特に英語圏の生活習慣、感性表象、社会的制度等にみられる文化的表象の特質に注目し、その特徴を文化的、歴史的、地理的角度から学ぶ。あわせて、文化によって醸成されるアイデンティティ理解のための基礎的方法論についても学習する。

### 211003 異文化理解B

#### 【到達目標】

- ・文化の諸様態を把握するための言語的方法論（特に英語圏文化を対象とする）を理解する。
- ・言語（特に英語）による異文化間コミュニケーションのあり方とそれぞれの特徴を実際の場面において理解する。
- ・言語と文化、言語と社会の諸種の関係とその広がりについて具体的に理解する。

**【概要】** 本講義では特に英語圏の言語文化の諸相に注目し、英語を媒介とする言語文化の視点から異文化理解の特徴と方法論を学ぶ。言語文化的視点からみた異文化理解には、まず英語コミュニケーションの諸特徴やそこで生じるコミュニケーション・ギャップの問題を理解することが肝要であるが、こうした基本的問題とともに、言語を基盤として形成された思想や文学、各文化に固有の日常的な文書様式、感性の表現などにも視野を広げ、それらの特徴を把握することで英語圏を対象とする異文化理解に資する方法を考察することも含まれる。

### 211004 Japanese Culture & Literature

#### 【到達目標】

- ・世界から見た日本の文学や文化の特徴を理解する。
- ・英語で日本の文学について説明し、発信する力を養う。
- ・英語で日本の文化について説明し、発信する力を養う。

**【概要】** 英語に翻訳された日本の文学作品、あるいは英語で書かれた日本文学論や文化論を読みながら、世界から、日本の文学や文化のどのような点に興味をもたれ、どのような特徴があると捉えられているのかを理解する。こうした文献をふまえたうえで、外国人の興味や関心のありかを理解しそれに応える形で、あるいは逆にどのような形で「日本」の特質を発信してゆくべきであるかを自ら考えて、日本の文学や文化を、英語で発信してゆく力を身につける。

### 211005 英語グローバル人材論

#### 【到達目標】

- ・各種の職業において、英語がどのように活用されているのか、その現状を具体的に理解する。
- ・英語の運用能力を生かした自らのキャリア形成について、その将来像を実践的に構築することができる。
- ・グローバル化の進む国際社会において、英語のさまざまな活用のあり方に関する可能性を具体的に考察できる力を養う。

**【概要】** 本講義はまず、日本および海外諸地域におけるさまざまな職業や社会的活動を念頭に、現在、英語がどのように活用されているのかについて、その状況を的確に理解する。その上で、そうした現況を参照しつつ、自らの資質を生かせる実践的なキャリア形成を具体的に構想できる知識を習得する。あわせて、グローバル化の進む国際社会にあって、英語を活用した新たな社会貢献の可能性を考察し、そうした可能性の実現へ向けた営みを自立的に進めることのできる知見を養う。

#### 211006 English Studies 基礎論（文学研究）

##### 【到達目標】

- ・英米の文学テクストを読み解く際に必要となる概念を理解する。
- ・英米の文学作品に示された言語表現の諸特徴、象徴、暗示を読解する力を養う。
- ・時代的、文化的コンテクストが英米の文学作品に表象される場合の基本的な解釈方法やその表象形式を理解する力を習得する。

**【概要】** 本講義では英語文化圏の文学を、イギリスとアメリカを中心に概観する。文学史的概論の後、具体的な文学テクストを取り上げ、文学を読み解く際に必要となる様々な概念を学習させ、言語表現の諸特徴や象徴、暗示を読み解く方法を学ばせる。また、時代状況や文化的コンテクストがテクストに与える影響を論じ、時代的・文化的コンテクストに基づき読み解く力を身につけさせる。

#### 211007 English Studies 基礎論（批評研究）

##### 【到達目標】

- ・主要な批評の理論や方法論を理解する。
- ・批評を読み解く力を身につける。
- ・上記の理解に基づきテクストを議論する力を養う。

**【概要】** 英語圏文学・文化を分析する際に必要な、英語で書かれた主要な批評理論を習得させる。本講義では、さまざまな文化の様相を分析し、その社会的意味を探究するカルチュラル・スタディーズとの関わりをも考慮に入れる。具体的には、英語圏の主要な文学・文化批評理論を取り上げて英語で読み、内容を考察した後、具体的にその理論を英語圏の文学作品や文化現象といったテクストに適応させてみることで、文学・文化の表象が視点の変化によりいかに異なる意味をもち得るかを認識させる。

#### 211008 English Studies 基礎論（文化研究）

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテクストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテクストを理解するための基本的な批評理論を習得する。

**【概要】** 本講義においては、英語圏の文化をテキストとして、色々なテーマに即して「読む」ことにより、それらがさまざまな時代の多様なコンテキストにおいてどのような意味をもっているかを深く学ばせることを目標とする。具体的には、英語圏の文化を表象する媒体（映画、新聞、広告、写真など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察させる。必要に応じて基本的な批評理論を学び、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211009 English Studies 基礎論（言語と社会）

##### 【到達目標】

- ・英語と社会との相互関係を理解し、多様な視点から英語を見ることが出来る力を養成する。
- ・英語と日本語の社会的変異の多様性を理解する。
- ・上記2点を通じて、3年次以降の英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

**【概要】** 言語は単なる記号体系として存在するのではなく、それをを用いる人がいて、その人たちによって構成される社会がある。言語は人間にとってもっとも身近な存在であり、そこには私たちの住む社会のあり方が直接的、あるいは間接的に反映されている。この講義では、言語としての英語について、特に社会との関連に焦点をあてて、英語圏と日本との比較対照も加えながら概観する。英語の社会言語学的研究への導入を意図した授業である。

#### 211010 English Studies 基礎論（言語の構造）

##### 【到達目標】

- ・英語の構造の研究に必要な基本用語とその概念を理解する。
- ・英語の構造に関する規則性を論理的に記述する手法を身につける。
- ・上記2点を通じて、3年次以降の英語学研究の見通しを得るとともに、自身の英語力の向上のために何が必要かについても、筋道を立てて振り返ることが出来るようになる。

**【概要】** 英語の単語・文における構造的な特質について理解するために、英語を、日本語をはじめとする様々な言語（英語のバラエティも含む）と比較することによって、その構造上の共通点、相違点を体系的に分析し、考察を加える。授業では文法的・非文法的な英文を、最小対等を用いることによって丁寧に観察し、記述する訓練をする。またそれと同時に、先行研究においてそれらにどのような説明が与えられているかについても概観し、理解する。

#### 211011 英語教育基礎論A

##### 【到達目標】

- ・英語教育の理論に関する基本的な知識を習得する
- ・英語教育の理論をもとに英語教育の現状を分析することができる
- ・英語教育の理論をもとに英語教育の展望を考察する力を養う

**【概要】** 英語教育の理論的な側面に関する基本的な知識として、英語教授法や英語教育の変遷、英語教育政策、第二言語習得研究等の関連分野等を包括的に説明し、英語教育に関する理解を深める。この知識をもとに、日本やアジア諸国のみでなく、ヨーロッパ等の諸外国の英語教育と比較したり、英語教授法や第二言語習得研究の観点から英語教育の様々な現状を分析したりする。さらに、将来を見据えて英語教育の現状をどのように改善すべきかを考察する。

## 211012 英語教育基礎論B

### 【到達目標】

- ・英語教育の実践に関する基本的な知識を習得する
- ・英語教育の実践の現状を分析することができる
- ・英語教育の実践の展望を考察する力を養う

**【概要】** 英語教育の実践的な側面に関する基本的な知識として、英語教授法や英語の各技能の指導法、指導技術等を包括的に概説して英語教育の実践に関する理解を深める。その理解をもとに、授業ビデオの視聴や公開授業の参観を通して、英語教育の実践の現状を比較・分析したり、授業の指導案や教材、評価方法や年間カリキュラム等の作成や開発に取り組むことで英語教育を実体得する。これらの活動をもとに、英語教育の実践の将来像を展望する。

## 211013 第二言語習得基礎論A

### 【到達目標】

- ・第二言語習得の一般的なメカニズムに関する基本的な知識を習得する
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて、日本における英語教育や英語学習などに関して分析する力を養う
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムを踏まえて、日本における英語教育や英語学習などに関して考察する力を養う

**【概要】** 本講義では第二言語習得に関する主要な理論や仮説を概観しながら、学習者に共通した第二言語習得の一般的なメカニズムについて理論的に解説する。これらの基礎的な知識の理解をもとに、日本における英語教育や英語学習などの現状を分析する能力を高める活動を実施する。さらに、この分析能力を活用して、第二言語習得の一般的なメカニズムの観点から、日本における英語教育の改善方法や履修者自身の英語学習の効率化などに関する考察ができるようになることを目指す。

## 211014 第二言語習得基礎論B

### 【到達目標】

- ・第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因に関する基本的な知識を習得する
- ・第二言語習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて第二言語の学習や教育について

て分析する力を養う

- ・第二言語の習得の個人差を生じさせる様々な要因を踏まえて第二言語の学習や教育について考察する力を養う

**【概要】** 本講義では、第二言語習得のプロセスで学習者ごとに異なる個人差を引き起こすメカニズムを扱い、それに関連するさまざまな要因を概観しながら、第二言語習得に見られる個人差について理論的に詳説する。これらの知識の理解を踏まえ、各種の事例を使って第二言語学習や第二言語教育の現状を分析する能力を養う。最終的には、第二言語習得の個人差を引き起こすメカニズムの観点から、第二言語学習の効率化や第二言語教育の改善のための方法が提案できるようになることを目指す。

#### 211015 言語の多様性と普遍性A

##### 【到達目標】

- ・言語データを分析し、背後にある構造や言語能力のしくみを考える基礎と分析能力を身につける。
- ・日本語、英語とは異なるタイプの言語に触れ、言語間の共通性や相違点に注目し、言語を相対化して見る視点を身につける。
- ・人間の言語能力の普遍的特徴が、どのように個別言語の言語現象に反映されているかを理解する。

**【概要】** 日本語・英語・その他の音声言語や手話言語には、非常に異なって見える現象の背後に共通のシステムを見出すことがある。そのような発見を通して、自然言語において基本要素を組み合わせて複雑な表現を作るしくみ、こどもが周囲の会話を手がかりに母語を獲得する上で必要となる生物学的な基盤と環境との関わりを考える思考法を身につける。履修者の多くにとって、自覚する間もなく習得した日本語、学ぶべき外国語とされている英語を、他の言語と並べて分析する体験を通して、自分が持つ枠組みを相対化して見る姿勢を身につける。

#### 211016 言語の多様性と普遍性B

##### 【到達目標】

- ・言語の多様性が、人間という種の特性を考える上で、他の認知能力の研究では得がたい手がかりを与えてくれることを理解する。
- ・言語知識の中で、経験を通して学習されるとは考えられない部分について、(1) 仮説を立てて検証し、(2) その仮説が帰結として得られるようなさらに深い仮説を考え、検証するというプロセスにより、演繹的な深さを求める考え方を身につける。

**【概要】** 世界の言語には、語や形態素の組合せ方、格表示や一致現象の有無、語順やアクセント、省略の可否など様々な違いが見られる一方、全く親族関係のない言語間に同じ規則性が観察されることもある。20世紀後半以降の言語研究は、個別言語の記述的妥当性

を超え、世界の言語の多様性と普遍性に注目してその原因を追求している。このような言語研究の例に出会い、科学的思考を支える考え方を学ぶとともに、言語を通して人間を理解しようとする人間の営みを体験する。

#### 211017 翻訳基礎論

##### 【到達目標】

- ・ 翻訳学の理論と翻訳実践の基礎を知る。
- ・ 日英語間の翻訳において、題材とする作品や事象が、もう一方の言語文化に翻訳・移入された時の実態と問題を知る。
- ・ 日英語間の翻訳において、翻訳移入により、その題材が移入先の言語文化に与える影響や生じる摩擦の諸相について知る。

**【概要】** 広い意味での異文化交流・異言語間コミュニケーションを考え理解するうえで、「翻訳」が果たす役割に着目した翻訳入門科目である。翻訳学（旧称「翻訳研究」）は比較的 新しい学際的な学問領域であり、様々なアプローチが可能である。その中から、本科目では、「受容」と「影響関係」を軸に、この学問領域に導入する。合わせて、「日英語対照」によるテキスト分析方法も紹介しつつ、翻訳実践の基盤も作る。

#### 211018 通訳基礎論

##### 【到達目標】

- ・ 通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。
- ・ 通訳に必要な高度な母語運用能力について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。
- ・ 通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解について、その基本的な内容を理解し、習得のための基礎力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本講座では、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけるための基礎的段階として、その性質や運用方法に関する基本的な知見を習得することを目標とする。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割、社会的貢献、新たなニーズなどについて、実践的な場面の事例研究を通じて考察し、通訳に関する学問的基礎とその広がりを理解する。

#### 211019 Professional English 基礎論

##### 【到達目標】

- ・ Professional English の社会的有効性について、その概要を理解する。
- ・ Professional English が活用される将来的可能性について、国内外のグローバル化の状

況とともに理解する。

- ・ Professional English の運用能力を高めるための方法と課題を理解する。

**【概要】** 本講義は、国際英語にかかわる言語文化的理解によって支えられた英語の高度な運用能力が、グローバル化の進む国内外の各種の産業や公的・社会的活動の諸側面において有効に機能し、大きな社会貢献を果たすものであることを理解するとともに、そうした幅広い知見と英語の運用能力を身につけるための基本的な方法と課題を考察することを目的とする。社会の諸種の場面で英語が機能し活用される状況を、実践的な事例研究を中心に理解する。

## ■ 特殊講義

### 211101 英語文化リソース論

#### 【到達目標】

- ・ 英語圏における、各種の産業や社会的活動のための文化的リソースの基本的な特徴とその広がりを理解する。
- ・ 英語圏の文化リソースと日本の各種産業や社会的活動との影響関係に見られる基本的な特徴を理解する。
- ・ 英語を用いた各種の表現や文化的表象と各種の産業や社会的活動との相互的な影響関係を具体的に理解する。

**【概要】** 本講義では、英語を基盤とするさまざまな文化的リソースが、各種の産業をはじめ、社会の諸活動に与えるさまざまな影響と、逆に、社会的諸状況がそうした文化的リソースの形成にもたらす影響関係とを具体的実践的に考察し、英語を基盤とする文化的リソースが果たす社会的役割を学ぶ。各種歴史的文書の蓄積、出版文化の推移、映像や映画、広告・広報、その他、各種のポピュラー・カルチャーなどが考察の対象となる。あわせて、英語文化リソースの日本への影響についても学ぶ。

### 211102 テーマ研究（ジェンダー研究）

#### 【到達目標】

- ・ ジェンダー研究のキーワードと概念を理解する。
- ・ ジェンダー研究の歴史を理解する。
- ・ ジェンダー研究に基づいてテキスト分析をする手法を習得する。

**【概要】** 本講義においては、ジェンダーという概念を学ぶところから出発し、関連するキーワードを概観する。その上で、英語圏、特に英米を中心に、ジェンダー研究に関する概念が発達してきた歴史的、文化的コンテクストを学習させる。以上の概観を踏まえ、ジェンダー研究の代表的なテキストや、ジェンダー研究の観点から読まれるべきテキストを紹介し、理論を学ぶと共に、理論を用いた分析方法を習得させることを目標とする。

### 211103 テーマ研究（英米文学）

#### 【到達目標】

- ・英米の作品の主要なテーマや、作品を読み解く際に鍵となる概念を理解する。
- ・作品のテーマと時代的、文化的コンテキストの関係を理解する。
- ・英語で書かれたテキストを読み解く力を習得する。

【概要】 本講義においては、英米を代表する作品をいくつか取り上げ、作品のテーマを解説し、作品を読み解くための様々な概念を概説する。時代背景や文化的背景の異なるテキストを取り上げることになる。その上で、テキストが書かれ、発表された時代的、文化的コンテキストと、テーマや記述の仕方との関連を学ばせる。受講者自身がそれぞれのテキストに向き合うよう導き、テキストを読み解く力を養うための方法も身につけさせる。

### 211104 テーマ研究（英語と世界文学）

#### 【到達目標】

- ・英語で書かれた世界文学を学ぶ際のキーワードを習得する。
- ・作品のテーマと時代的、文化的コンテキストの関係を理解する。
- ・英語で書かれたテキストを読み解く力を習得する。

【概要】 英米文学の授業では扱わなかった英語圏の文学、および英語で書かれた文学、さらには英語に翻訳された文学など、英語という言語で文学を読むことの意義を考えることを本講義の目標とする。「多文化主義」、「植民地主義」、「グローバリズム」、「越境・移動」、「翻訳」といった観点から、世界のさまざまな地域の文学を読解し、その作業を通して価値観を相対化する視野を獲得させることを目指す。

### 211105 テーマ研究（英語教育と第二言語習得）

#### 【到達目標】

- ・英語教育と第二言語習得の関係を理解する
- ・英語教育と第二言語習得の関係の現状を分析することができる
- ・第二言語習得をもとにした英語教育を考察する力を養う

【概要】 英語教育は英語の指導法を、第二言語習得は英語を含む第二言語の学習のプロセスを研究主題としており、それぞれの研究対象は指導者と学習者であるが、両分野は密接不可分な相関関係にある。本講義では、英語教育の実践や英語教育政策、英語の学習法等の身近な話題を取り上げて、英語教育と第二言語習得の両観点から、その現状を包括的に分析・把握した上で、これらの英語教育や英語学習に関連する諸問題への解決策を提示することができる力を養う。

## 211106 テーマ研究 (Professional English)

### 【到達目標】

- ・ 本学における Professional English 3 領域 (翻訳・通訳・実務英語) の概要を知る。
- ・ 3 領域 (翻訳・通訳・実務英語) それぞれの学びの特徴を捉える。
- ・ 3 領域 (翻訳・通訳・実務英語) に対する自らの興味と問題意識を明確にする。

**【概要】** 履修者が、3 領域 (翻訳・通訳・実務英語) それぞれの学びの特徴を捉え、問題意識を明確にできるようにするために、各領域の担当者が交代で講じるオムニバス形式で行う。その構成と内容は次の通り。(1) プロフェッショナル・イングリッシュのためのイントロダクション (2) 実践英語の諸形態 (3) 翻訳の機能と効用 (4) 通訳の機能と効用 (5) まとめ。履修者の実習・実作やコメントを求めながら進める双方向型の授業とする。

## 211107 比較文化 A

### 【到達目標】

- ・ 比較文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・ 自己の文化圏とは異なる文化的価値を理解する。
- ・ 異文化を鏡として自己を見つめ直す力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、他の国やエリアに関わる文化受容の諸問題を考察する。近現代の日本人が異文化と向き合うことで、どのような他者像を形成し、どのように自己のアイデンティティを考えたのかを明らかにしてゆく。また異文化との交流によって、複数の文化が混ざり合い、新たな文化が形成される過程を分析する。

## 211108 比較文化 B

### 【到達目標】

- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解する。
- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を比較文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・ 国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、比較文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た比較文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら比較文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた比較文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏に及んだ文化的影響関係を扱う。

## 211109 表象文化 A

### 【到達目標】

- ・表象文化に関する基本的な知見を身につける。
- ・表象文化の歴史的変化を理解する。
- ・文化領域相互の影響関係について分析する力を養う。

**【概要】** 日本語を媒介として、日本で形成されてきた表象文化と、海外から発信され日本に紹介された表象文化を考察する。明治・大正・昭和の時代に、西欧文化と向き合うことで、日本の都市空間や文化は大きく変容した。文学を含む言語表現や、写真や美術などのヴィジュアルな表現を通して、モダニズムの姿を明らかにする。

## 211110 表象文化 B

### 【到達目標】

- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴と文化的社会的影響を理解する。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、その考察を表象文化研究全般に応用できる力を身につける。
- ・国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例の考察を通じて、表象文化研究を自律的に遂行できる課題探究力を身につける。

**【概要】** 本講義は、国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる重要な事例を具体的に考察し、その特徴を理解するとともに、その理解を発展させ、国際的な視野から見た表象文化研究全般に応用できる力を養うことを目的とする。また、講義で扱う具体的な事例を参照して、自ら表象文化研究に資する課題の発見や探求をおこなえる力を涵養する。国際英語の分野からみた表象文化研究にかかわる事例としては、主に英語圏から日本を含む非英語圏へ広がりをもせたものを扱う。

## 211111 英語文学（演劇）

### 【到達目標】

- ・演劇という表象ジャンルの特徴についての基礎的知識を獲得する。
- ・演劇がその時代の文化において持つ意味を理解する。
- ・個別作品について英語で書かれたテキストの読解に基づき、基本的な解読・分析方法を理解する。
- ・批評理論を作品解釈に援用する方法を習得する。

**【概要】** 演劇という英語表現ジャンルの特徴及び演劇が、さまざまな時代の多様な領域の英語圏文化において、どのような意味をもっているかを本講義では講じる。具体的には、イギリス・アメリカを中心とした英語圏文化が生み出してきた代表的な戯曲をいくつか取り上げ、英語によって解読・分析を行う。実際の上演を考慮に入れながら、それら演劇作品の文学的・文化的・社会的意味を考察させる。現代批評理論を用いた分析方法についても解説する。

## 211112 英語文学（小説）

### 【到達目標】

- ・英語圏の小説を個別のテーマに沿って深く理解するとともに多角的に分析できる力を身につける。
- ・英語圏小説の歴史的・文化的背景についての知識を獲得する。
- ・小説を論じるための各種の実践的・応用的な方法論の学習を通して文学・文化の多面的な理解力を身につける。

**【概要】** この授業は英語圏の国々で書かれた小説を、種々の問題意識（人種、階級、ジェンダーなど）に沿って読解し理解を深めるとともに、各種の方法論を用いて分析することを目標とする授業である。個々のテキストの精読をさらに発展させ、ある個別の文化現象をテーマに設定し、国境を越えた幅広い文学作品群を歴史・文化の側面から多面的に扱う可能性も視野に入れて授業を進める。

## 211113 英語文学（詩）

### 【到達目標】

- ・詩的言語の特徴としての韻律、修辞、形式、表現方法についての詳細な知識を獲得する。
- ・詩人や作品について、その歴史的・文化的背景を理解する。
- ・個別作品についての深いレベルでの読解・分析ができるようになる。
- ・批評理論を作品解釈に援用する方法を習得する。

**【概要】** 英米のみならず、その他の英語文化圏における英語で書かれた詩作品を通して、詩的言語の特徴とその世界認識のあり方を理解するための講義である。英語詩をよりよく理解するために、形式や技法についての知識を深めるとともに、詩人やその作品の背景となる歴史的状況、たとえば社会や文化の変遷などについても学習し、具体的な作品を複眼的な視野によって深いレベルで分析する。現代批評理論の詩作品分析への応用についても解説する。

## 211114 英語文学（児童文学）

### 【到達目標】

- ・児童文学の本質について理解する。
- ・英米の「子ども」観についての知識を得る。
- ・児童文学作品をめぐる文化的背景を多角的に理解する。
- ・作品を自分の力で読解・分析する能力を涵養する。

**【概要】** 人間・社会・世界に目を開かせ、自己確認と自己確立を促し、楽しませつつ深く考えさせるという児童文学の本質を論じる。英語圏児童文学を主たる題材とし、リアリズムやファンタジー等の種々のサブジャンルにわたる作品の原書を講読することにより、このような本質についての理解を深める。このジャンルの多層性を読み取るために個別の作家の時

代背景を、とくにその文化的側面を中心に考察する。英米文化における「子ども観」の変遷にも目を配る。児童文学が一般小説と共有する基本的要素の分析と理解を通じて、比較的易しい表現に隠れた作品の主題を解説する。

#### 211115 英語文学（比較文学）

##### 【到達目標】

- ・比較文学の理論や方法を理解する。
- ・比較されるテキストを読み解く力を身につける。
- ・比較すべきトピックを見いだす力を習得する。
- ・比較をトピックに文学テキストを論じることができるようになる。

**【概要】** 比較文学の理論や方法を概観するところから始めるが、特に英語圏、および英語圏の文学テキストとの関係で、いくつかの理論や方法にスポットを当て、実際のテキストを題材に比較する方法を学ぶことが本講義の目標である。あるテキストと別のテキストの影響関係を実証的に研究する方法や、国や地域といった文化的コンテキストの異なるテキストを対比する方法、文化的コンテキストの異なる文学の受容を研究する方法、さらには様々な理論を相互参照する方法などから特定のトピックに焦点をあて講じる。

#### 211116 英語文学（映像と言語表現）

##### 【到達目標】

- ・英語圏で作成された映像による表現の歴史や特徴を理解する。
- ・英語圏で作成された映像における言語表現のさまざまな役割を理解する。
- ・英語圏で作成された映像と言語表現をテキストとして読解する手法を習得する。

**【概要】** 映像とは映画、テレビ、写真などの画像であるが、映像は映像のみで完結することは少なく、言語表現を伴うものが大半である。本講義では、一つには英語圏で作成された映像と言語表現の結びつきを歴史的な文脈や媒体の特徴と併せて考察することを目標とする。映像が言語表現と併せて用いられる点に着目し、言語表現との関係で映像を理解する仕組みを考えさせる。もう一つには、映像が言語表現としていわば翻訳され、見るものに理解される仕組みを、様々な例の考察を通して理解することを目標とする。

#### 211117 イギリス文学史 I

##### 【到達目標】

- ・イギリス文学が歴史や文化の展開と密接に関連していることを理解する。
- ・イギリス文学が歴史とともに変容していく文化的メカニズムを把握する。
- ・社会や文化の歴史の展望の中でイギリス文学を捉えるという意識と能力を獲得する。

**【概要】** 中世から王政復古期までのイギリス文学の諸相を概観する。初期近代、テューダー一朝、エリザベス朝、ジェイムズ朝、内乱期、王政復古期の詩、散文、演劇を取り扱う。そ

それぞれの時代背景を把握し、文学との関係において社会の重要な出来事や思潮について考察した後、個々の詩人、劇作家などの文学史における役割を検討し、各時代の文学的トピックを概説しつつ、重要な文学作品の具体的な読解、鑑賞も行う。

## 211118 イギリス文学史Ⅱ

### 【到達目標】

- ・近・現代イギリス文学に見られる歴史的・思想的枠組みを理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

**【概要】** 18世紀から20世紀前半までのイギリス文学の諸相を概観する。18世紀の詩、イギリス小説の誕生とその発展、ロマン派の文学、19世紀の小説と散文、19世紀後半の詩と演劇、20世紀前半の小説と演劇を扱う。それぞれの時代背景や社会の重要な出来事、思潮について考察した後、個々の詩人、劇作家、小説家などの文学史における役割を検討し、各時代の文学的トピックを概説しつつ、重要な文学作品の具体的な読解、鑑賞も行う。

## 211119 アメリカ文学史Ⅰ

### 【到達目標】

- ・初期アメリカ文学の歴史的・社会的背景を理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

**【概要】** 17世紀から南北戦争の終わる1865年あたりまでに書かれた、アメリカ文学の歴史的展開を概観する。この授業ではまず、興味深く重要なテキストをいくつか取り上げ、精読することも求められる。文学上の展開だけでなく、文学作品を検証するために必要な、歴史的、文化的な背景にも触れていく。この授業の目的は、初期アメリカ文学の主な流れをしっかりと理解することができるようになることである。

## 211120 アメリカ文学史Ⅱ

### 【到達目標】

- ・19世紀後半以降のアメリカ文学の歴史的・社会的背景を理解する。
- ・その歴史的・思想的枠組の理解に基づき、個々の作品の特質を広く文化史的観点から自律的に考察できる力を身につける。
- ・作品分析をめぐる基本的な文学的手法を理解し、それを実践できる実力を涵養する。

**【概要】** 南北戦争の終わる 1865 年頃から現在までに書かれたアメリカ文学の歴史的展開を概観する。この授業ではまず、興味深く重要なテキストをいくつか取り上げ、精読することも求められる。文学上の展開だけでなく、文学作品を検証するために必要な、歴史的、文化的な背景にも触れていく。この授業の目的は、後期アメリカ文学の主な流れをしっかりと理解することができるようになることである。

#### 211121 英語文化研究特論 A

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテキストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテキストを理解するための応用的な批評理論を学ぶとともに、多様な分析方法を実践する力を養う。

**【概要】** 本講義においては、イギリスおよびイギリスと結びつきの深い英語圏文学・文化を色々なテーマに即して読むことで、それらがさまざまな時代の多様な領域の英語圏文化においてどのような意味をもっているかを深く学ぶことを目標とする。具体的には、英語圏文化における文学作品、および文化を表象する媒体（映画、新聞、広告など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察する。必要に応じて批評理論を用い、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211122 英語文化研究特論 B

##### 【到達目標】

- ・英語圏の文化の特質を理解する。
- ・文学を始め、文化を表象するテキストがはらむ問題を把握する力を養う。
- ・文化を表象するテキストを理解するための応用的な批評理論を学ぶとともに、多様な分析方法を実践する力を養う。

**【概要】** 本講義においては、アメリカおよびアメリカと結びつきの深い英語圏文学・文化を色々なテーマに即して読むことで、それらがさまざまな時代の多様な領域の英語圏文化においてどのような意味をもっているかを深く学ぶことを目標とする。具体的には、英語圏文化における文学作品、および文化を表象する媒体（映画、新聞、広告など）をいくつか取り上げて読み解き、それらの文化的・社会的意味を考察する。必要に応じて批評理論を用い、作品および文化へのより深い理解を目指す。

#### 211123 英語学（意味論）

##### 【到達目標】

- ・意味論の基本的な概念を理解する。
- ・英語の「意味」を分析できる力を養成する。

**【概要】** 「意味する」ことの意味を問うための授業である。日常的に使われる英語の持つ「意味」はどのように構成されているか、具体的用例の分析を通して、英語の「意味」の成り立ちへの理解を深め、意味論への導入を行うことを目的とする。単語レベルの意味と文レベルの意味、同意・反意・矛盾などの論理の意味、含意・ニュアンスなどのプラスアルファの意味、修辞学的意味、意味変化のメカニズムなど、意味の諸相を論じる。

#### 211124 英語学（語用論）

##### 【到達目標】

- ・語用論の基本的な概念を理解する。
- ・英語を発話のレベルで分析できる力を養成する。

**【概要】** 言葉は単なる論理体系としてではなく、「人によって使用されるもの」として存在する。「意味」も固定したものではなく、話し手と聞き手の間の相互作用を通してダイナミックに生成されるものである。実際の英語使用の場面で用いられる英語表現は、文字通りの意味とは別に、様々なコミュニケーション上の役割を担っている。英語使用の様々な場面におけるコミュニケーションのメカニズムについて理解を深め、語用論への導入を行うことを目的とする。

#### 211125 英語学（音韻論）

##### 【到達目標】

- ・「音声学」との違い、および「音韻論」の研究対象と研究方法を理解する。
- ・「音素」という概念について理解する。
- ・「母音」「子音」「半母音」などの音声的特質と機能について理解する。
- ・英語の音構成（音素システム）や音節構造を理解する。
- ・英語の強勢パターンやイントネーションの働きについて理解する。

**【概要】** 母音や子音の音声的特質と役割の違い、言語ごとの音の種類や音節構造の違い、言語使用者による音声の認知や識別などの問題を探ることによって、言語における「音声の働き」について、英語の音声を中心に学ぶ。「音素」という概念を理解することが基本となるが、個別音だけでなく、「超分節音素」と言われる強勢やイントネーションの特徴や働きについても、英語を中心に考察する。音韻論には、これまでさまざまな理論や学説が提唱されてきたが、それらの理論的な側面にも一部触れる。

#### 211126 英語学（形態・統語論）

##### 【到達目標】

- ・形態論・統語論に関する基本的な知識を習得する。
- ・主に英語の形態論・統語論に関わる現象に対する先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。

・上記2点を通じて、英語の構造の特徴を理解する。

**【概要】** 主に英語の資料をもとに、単語レベルでの音と意味の結びつき、文レベルでの音と意味の結びつきに関する規則の体系を概観する。主に1980年代以降の先行研究を参照しながら具体的な資料を客観的に分析する手法を学び、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。

## 211127 英語学（社会言語学）

### 【到達目標】

- ・言語使用者の属性および言語使用の状況などと言語の変異の多様な関係を理解する。
- ・現実の社会、特に英語圏において存在している言語の諸問題を分析する力を養成する。

**【概要】** 言語と社会の関わりを多角的に考察し、私たちが今日直面する言語問題が何かを理解するとともに、日常生活における言語行動の意味を自覚的に捉える態度を養うことを目的とする。具体的には、英語について、言語使用者（出身地・社会階層・年齢・性別・民族的バックグラウンドなど）と言語使用（レジスターなど）がどのような言語変異を生み出しているかを考察する。社会言語学の基本的な概念を論じ、その観点から英語の諸相を概観するための授業である。

## 211128 英語学（英語史）

### 【到達目標】

- ・古英語から現代英語に至る英語の発達の歴史を学ぶことによって、英語における言語変化とその時代の社会・文化的背景を理解する。
- ・英語の特質を歴史的な観点から考察し、分析する力を養成する。

**【概要】** アングロサクソン人のブリテン島渡来を契機とする英語の発祥（古英語）から、その後の変遷（中英語～初期近代英語～現代の英語）と国際語への拡がりに至る過程を辿り、内的・外的要因による様々な変化を概観して、人間言語のひとつとしての英語の通時的な姿を学ぶ。その上で現代英語との関連を考えながら過去の英語の姿を観察し、英語に起きた変化と各時代の社会的・文化的背景との関係を考えることによって、現代英語および言語と社会の関係についての知見を深める。

## 211129 英語指導法

### 【到達目標】

- ・英語の指導法を理解する
- ・英語の指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・適切な指導法を用いた英語指導の実践力を養う

**【概要】** 本講義では、英語教授法等をもとに、理論的、かつ、体系的に英語の指導法を整

理した上で、多様な指導環境に応じた、より適切な指導法について詳説する。また、技能別の指導法のみでなく、技能を統合した指導法も扱う。さらに、英語授業のDVDの視聴や授業参観を通して、どのような英語の指導法がどのように実践されているかを分析する。これらの学習を踏まえて、目的に応じた英語の指導法を選択して指導案を作成し、模擬授業を実施する等して実践的な英語指導力を養う。

### 211130 児童英語指導法

#### 【到達目標】

- ・児童に向けた英語の基本的な指導法を理解する
- ・児童に向けた英語の基本的な指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・適切な基本的な指導法を用いた児童に向けた英語の指導力を養う

【概要】 本講義では、英語教授法等をもとに、理論的、かつ、体系的に児童英語の指導法を整理した上で、多様な指導環境に応じた、より適切な指導法について詳説する。また、技能別の指導法のみでなく、技能を統合した指導法も扱う。さらに、児童英語授業のDVDの視聴や授業参観を通して、どのような児童英語の指導法がどのように実践されているかを分析する。これらの学習を踏まえて、目的に応じた児童英語の指導法を選択して指導案を作成し、模擬授業を実施する等して実践的な児童英語指導力を養う。

### 211131 第二言語習得研究法

#### 【到達目標】

- ・第二言語習得の研究法を理解する
- ・第二言語習得の研究法を適切に選択して研究を立案することができる
- ・第二言語習得に関する調査・実験をすることができる。
- ・第二言語習得に関する研究の報告書を作成することができる

【概要】 第二言語習得は学際的な研究分野であり、それに伴い、研究手法も関連する学問分野により多岐・多様に渡っている。本講義では、まず、そのような第二言語習得のさまざまなデータ収集・分析方法等の研究手法を整理しながら概観する。そこで得た知識をもとに、履修者各自が関心のある研究テーマを選び、研究計画を立て、実際に実験や調査を実施する。さらに、収集したデータを分析したものを研究報告書としてまとめた上で、口頭による研究報告ができる力を養う。

### 211132 翻訳学特論

#### 【到達目標】

- ・翻訳基礎論で学んだ基礎を土台に、翻訳学の理論と分析方法の理解をさらに深める。
- ・日英語間の翻訳において、題材とする作品や事象が、もう一方の言語文化に翻訳・移入された時の実態と問題を分析・考察する。

- ・翻訳学の方法論を用いて、摩擦の諸相を分析し、「翻訳」をめぐる問題をより深く考察する。

**【概要】** 「翻訳基礎論」を土台に、より詳しく翻訳を分析するさまざまな方法論について確認する。そのうえで、主として「日英語対照研究」を行う。プロの翻訳者により翻訳された文と原文との比較対照と分析が中心になる。たとえば、言葉がより複層的な意味をもって用いられる文学作品を素材とし、現代日本文学の英語訳や、現代英米文学の日本語訳などを、各原文と比較検討する。翻訳の理論と実践についての本格的な理解と能力を涵養する。

### 211133 通訳学特論

#### 【到達目標】

- ・通訳に必要となる外国語能力（英語）について、その基礎的な内容の理解と語学力に基づく、より実践的応用的な運用能力を養う。
- ・通訳に必要となる母国語能力について、その基礎的な内容の理解と語学力に基づく、より実践的応用的な運用能力を養う。
- ・通訳に必要となる言語の文化的背景知識や時事的問題について、その基礎的な内容に関する把握をもとに、より発展的な理解をするとともに、知見や教養を実践的に運用できる力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本講座では、通訳に必要となるこれらの能力や教養を身につけるための発展的専門的段階として、その性質や運用方法に関するより実践的な知見と運用方法を習得することを目標とする。また、通訳についての学問的基礎とその広がりに関する基礎的理解をもとに、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割や新たな社会的貢献のあり方について、自律的かつ実践的に考察できる力を養う。

## ■ 基盤演習

### 211201 1年次演習（国際英語）

#### 【到達目標】

- ・国際英語にかかわるさまざまな文献や資料について、これを十分に読解し吸収する情報収集能力を身につける。
- ・国際英語にかかわるさまざまな文献や資料について、論点を見きわめ、その論点について主体的に考察し、考察の結果を的確に発信できる論理的思考力と表現力を身につける。
- ・国際英語にかかわる情報を積極的に探索・収集し、これを学問的研究に活用する主体的なアカデミック・スキルを身につける。

**【概要】** 国際英語にかかわるイングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野に共通する学問的研究方法について基礎的な知識やスキルを培い、それぞれの学問分

野に取り組むための基盤を養う。具体的には、第一に、文献や資料を正確に理解するとともに、そこから可能な限りの情報を引き出す方法を学ぶこと。第二に、文献や資料を能動的に扱い、その論点を見きわめた上で、自らの見解を適切に構築する力を培うこと。そして第三に、国際英語にかかわる情報への関心を高め、その収集を主体的に行えるようにすること、である。

## 211202 Study Abroad 基礎演習

### 【到達目標】

- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる主体的な研究課題（英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skills に関わるもの）の設定について、その基礎となる知識とスキルを身につける。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題の基礎的探究能力を身につける。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる表現能力および適切な語学力運用方法を身につける。

**【概要】** 本演習は、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる国際英語に関連した研究課題(英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skills に関わるもの)の設定のための基礎的な知識とスキルを習得するとともに、その課題を学問的に探究するための方法を実践的に身につけ、あわせて、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で不可欠な英語による表現能力や語学力の運用方法を養うことを目的とする。また、これらの目的を達成するために、研究課題探究のための主体的積極的な学習姿勢を涵養する。

## 211203 First-Year English Seminar I

### 【到達目標】

The goal of First-Year English Seminar I is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- write well-constructed paragraphs in English
- write carefully organized 1 page essays consisting of a series of paragraphs
- understand what plagiarism is and how to avoid it
- acquire basic communicative skills in English through classroom activities

**【概要】** この演習は国際英語学科が提供する英語によるコミュニケーション能力の養成プログラムの最初の授業である。リーディングに基づくライティングを基礎に、ネイティブ教員の説明を聞き、プレゼンテーションと質疑応答のインタラクションを通してリスニングとスピーキングの力を涵養し、四技能の統合を目指す。授業はすべて英語で行われる。学生は学術論文における多様なパラグラフについて学び、自分でも作成する。その際に、レイアウトや構成を学び、適切な語彙、文法、そして本論にある文章間のつながりの言葉を用いることを習得し、最終的には2～3つのパラグラフで構成されたエッセイを完成させる。また、自

分の作文を自分で編集し、修正する方法を学ぶ。作成したエッセイに基づき、プレゼンテーションおよび質疑応答を行う。プレゼンテーションは、発表者とオーディエンスのインタラクションから成り立つことを知り、発表者としての説得的な話し方とオーディエンスとしての情報の正確な聞き取り方や積極的なレスポンスの仕方を学ぶ。

## 211204 First-Year English Seminar II

### 【到達目標】

The goal of First-Year English Seminar II is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- write good outlines for short academic essays
- write effective introductions that include a coherent thesis statement
- write 2-page academic essays developing a central thesis
- acquire advanced communicative skills in English through classroom activities

**【概要】** この授業では前期の「First-Year English Seminar I」でパラグラフ・ライティングについて学んだことに長文読解の要素を加えることで、エッセイ・ライティングを軸に四技能を統合した英語コミュニケーション力のさらなる増強を目指す。授業はすべて英語で行われる。テキスト読解力をつけること、論文の主旨を発展させ補強すること、アウトラインを構成すること、効果的な序論と結論を書くことを身につける。文法的にも間違いのないエッセイ作成を特に心がける。最終的には、「序論、複数のパラグラフで成り立つ本論、結論」で構成されたアカデミック・エッセイを作成することを目指す。書く過程でのピアエディティング、書いたものを基にしたプレゼンテーションと質疑応答（オーディエンス側の聞き取りおよびレスポンスの仕方の習得を含む）などのインタラクティブな活動を通して、より高度なコミュニケーション能力を養成する。

## 211205 Second-Year English Seminar

### 【到達目標】

The goal of Second-Year English Seminar is for students to be able to:

- write grammatically correct sentences
- improve reading skills directly related to academic writing
- build on their ability to write academic essays consisting of an introduction, body, and conclusion
- understand the importance of quotations and evidence in writing academic essays
- recognize and avoid plagiarism

**【概要】** この授業は1年次の「First-Year English Seminar I・II」で得たスキルをふまえ、3年次の「Third-Year Research Writing I・II」に繋げるための授業である。国際英語学科の各専門分野のテキストを読んで理解し、論じ、それについて英語で書く力を学生が身につけることができるよう構成されている。テキストを理解し分析する能力を高め、理解した内容について、短い学術的なエッセイ（その際、MLAやAPAの形式に従った引用、主題文を補強する証拠、文献目録を含む）を書く能力を向上させることがこの授業の目標である。

## 211206 Research Project for Study Abroad

### 【到達目標】

- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題（英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skills に関わるもの）について、その内容と研究方法を具体的に理解する。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる研究課題についての発展的探究能力を身につける。
- ・スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる表現能力および語学力運用手法について実践的に習得する。

**【概要】** 本演習は、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で必要となる国際英語に関連した研究課題（英語文学、英語学、英語教育学、Professional English Skills に関わるもの）を明確に理解するとともに、その課題にあわせてこれを探究する本格的な学問的手法を身につけ、あわせて、スタディ・アブロードによる勉学を遂行する上で不可欠な英語による表現能力や語学力の運用方法を、海外の大学での実践的状况を想定して養うことを目的とする。各研究課題について、研究の現況や先行研究についても、主体的積極的に情報を収集する力を養う。

## 211207 英語音声学

### 【到達目標】

- ・英語の音声的特徴および発音の仕方に関する基本的概念を理解する。
- ・英語独特の強勢パターン、イントネーション、リズム感を含む英語らしい発音を習得する。

**【概要】** 英語独特の音声的特徴の基本的知識を学ぶとともに、英語の発音の仕方を身につけることを目的とする。母音の構成、子音の種類、音節の成り立ち、音のつながり(linking)、語・句・文の各レベルにおける強勢パターン、イントネーション、リズムなどについて、日本語との違いを念頭に置きながら学習する。同時に、CD教材やCALL教室のインタラクティブなトレーニングソフトなどを用いて、英語の発音の実践練習を行い、英語らしい発音の仕方を体得する。

## 211208 英文法

### 【到達目標】

- ・英語の文法に関する基礎的知識を確認・徹底し、説明できるようになる。
- ・英文法の知識を文法的に正しい英文を作成することに活用できるようになる。
- ・英文法の知識を実際の英語使用の文脈で活用できるようになる。

**【概要】** 英語の文法について、品詞・用法などについての基礎知識を確認・徹底し、その知識を実践の中で活用できるようになることを目的とする。この目的のために、まず英語の

運用には不可欠である文の基本構造や品詞の分類の理解の徹底をはかった上で、使用領域による語法や構文の多様性などを考察し、生きた英語の知識の一部としての英文法を体得する。授業は演習形式で、学生による説明や練習問題訓練を中心に行う。

#### 211209 English Studies 入門演習 I

##### 【到達目標】

- ・英語で書かれた文学、文化、英語学のテキストを読む力を養う。
- ・それぞれの学問分野の基礎的な知識、方法論を習得する。
- ・複眼的なものの見方を習得し、みずから思考する態度を養成する。
- ・議論の組み立て方を学び、それを伝える能力を養う。
- ・以上を踏まえてレポートを書く基礎を身につける。

**【概要】** English Studies を英語で発信される文学や文化の研究、および英語という言語を研究する英語学と位置付け、研究方法について基礎的な知識やスキルを養成し、かつ学問に誠実に向かい合う心構えを、演習形式によって各学生に身につけさせることを目標とする。具体的には、以下の三点に集約される。第一に、テキストを正確に読み解く力を養うこと。第二に、先行研究を調べ、先行研究に対してどのように自己の見解を作り上げてゆくべきかを考えること。そして第三に、他者を説得する論理を、組み立て、表現する方法である。

#### 211210 English Studies 入門演習 II (文学)

##### 【到達目標】

- ・英語で書かれた文学テキストを読解する力を養う。
- ・英語で書かれた文学テキストを読解するのに必要なりサーチ方法を習得する。
- ・英語で書かれた文学テキストを論じる方法を理解する。
- ・英語で書かれた文学テキストを英語で論じる基礎を身につける。

**【概要】** English Studies の1つの柱である英語で書かれた文学について、「English Studies 入門演習 I」で学んだ基礎を発展させ、様々な文学テキストにおける読解力を身につけ、問題を発見し、論じる力を育成することを目標とする。演習形式によって受講生は、文学テキストから問題点を発見し、論じるために必要なりサーチを行い、議論の組み立てを学習し、レポートに仕上げる方法を実践する。

#### 211211 English Studies 入門演習 II (文化)

##### 【到達目標】

- ・英語による文化テキストを読解する力を養う。
- ・英語による文化テキストを読解するのに必要なりサーチ方法を習得する。
- ・英語による文化テキストを論じる方法を理解する。
- ・英語による文化テキストを英語で論じる基礎を身につける。

**【概要】** English Studies の1つの柱である英語を用いて作られた様々な文化テキストについて、「English Studies 入門演習 I」で学んだ基礎を発展させ、文化テキストを読解する力を身につけ、問題を発見し、論じる力を育成することを目標とする。そのためにカルチュラル・スタディーズの理論の基礎も学習する。演習形式によって受講生は、文化テキストから問題点を発見し、論じるために必要なリサーチを行い、議論の組み立てを学習し、レポートに仕上げる方法を実践する。

## 211212 English Studies 入門演習Ⅱ（言語）

### 【到達目標】

- ・英語の歴史、音声や文法の特徴、社会との関係などについての基本的知識を身につける。
- ・英語を言語学的に洞察する態度を養う。

**【概要】** 本演習は、「English Studies 入門演習 I」で学んだ基礎を発展させ、英語という言葉の姿と言語学的な研究方法についての基礎知識を得ることをねらいとする。「世界語」と言われるまでになった英語の現状とその発展の経緯を把握するとともに、音声、語彙、文法、歴史、方言、社会との関係などのテーマごとに学ぶことを通して、英語を多面的に理解すると同時に、それぞれの分野ごとに、どのような問題や研究テーマがあるかを探る。英語概論と英語学入門を兼ねた授業である。

## 211213 英語教育入門演習

### 【到達目標】

- ・英語教育の実践の現状を把握する
- ・英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能をもとに英語教育の実践を考察する力を養う

**【概要】** 本演習では、英語教育に関連する身近な話題を取り上げながら、英語教育の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。そのために、学習指導要領や英語教育史、英語教育政策等を通して英語教育の概観を把握する。加えて、英語教授法や英語指導法、第二言語習得等の関連分野の理解を深めることで、英語教育を多角・多面的に捉える。さらに英語教育の実践の現状を体感するために、授業実践のビデオの視聴や授業観察等もする。最後に英語教育のあるべき姿を考察する。

## 211214 児童英語教育入門演習

### 【到達目標】

- ・児童英語教育の実践の現状を把握する
- ・児童英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・児童英語教育の実践に必要な基礎的な知識技能をもとに英語教育の実践を考察する力を養う

**【概要】** 本演習では、児童英語教育に関連する身近な話題を取り上げながら、児童英語教育の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。そのために、さまざまな文献や資料をもとに、児童英語教育の概観を把握する。加えて、英語教授法や児童英語指導法、第二言語習得等の関連分野の理解を深めることで、児童英語教育を多角・多面的に捉える。さらに児童英語教育の実践の現状を体感するために、授業実践のビデオの視聴や授業観察等もする。最後に児童英語教育のあるべき姿を考察する。

#### 211215 第二言語習得入門演習

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の現状を把握する
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の理解に必要な基礎的な知識技能を身につける
- ・第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差の理解に必要な基礎的な知識技能をもとに第二言語習得を考察する力を養う

**【概要】** 本演習では、第二言語習得に関連する身近な話題を取り上げながら、第二言語習得の基礎的な知識を習得することを主な目的とする。まず、履修者の外国語学習経験や世間に広まっている俗説を整理して身近にある第二言語習得に関連する事項についての意識を高める。さらに、それらの事項にどのような規則性が見られるか等、第二言語習得の現状を整理、分析、考察した上で、今日に至る第二言語習得の一般的なメカニズムや個人差についての研究成果を詳説する。最後に、第二言語習得の効率化や第二言語教育の改善の方法を理論的に模索する。

#### 211216 Classroom English 入門演習

##### 【到達目標】

- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の指導法を理解する
- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業を立案することができる
- ・英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業を実施する力を養う

**【概要】** 本演習では、場面に応じて英語と日本語を使い分けながら英語の授業を実施する力を養うことを目的とする。そのために、まず教室内での英語のインプットや英語でのコミュニケーションの意義を概説し、英語と日本語をどのように使い分けるかについて理論的に詳説する。これらの知識技能を身につけるため、英語と日本語を使い分けながら実施する英語の授業案を作成して、模擬授業等を実施した後、振り返りとして教室での英語と日本語の使い方についての考察を深める。

## 211217 Professional English 入門演習A

### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、活字や文字で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・活字や文字を媒体とする英文の種類と文体的特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

**【概要】** さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。本演習では、出版翻訳、英語広報、ニュース、映画字幕など、活字や文字を媒体として表現される英文の種類とそれぞれの文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

## 211218 Professional English 入門演習B

### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、口頭で伝達・発表するタイプのものの概要を知る。
- ・口頭伝達で発信される英語の多様性と特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

**【概要】** さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。本演習では、各種通訳、観光ガイド、商品説明など、口頭で表現されるタイプの英文の種類と文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

## 211219 Public Speaking

### 【到達目標】

- ・public speaking において求められる総合的な英語力（Listening や Writing、Reading などを含む）の特徴を理解し、その実践的な運用能力を養う。
- ・public speaking における論理的で説得力のある構成方法や、発話内容に関する資料収集や分析方法を、総合的な英語運用能力を向上させつつ、習得する。
- ・public speaking の社会的な役割と機能の諸相について、総合的な英語運用能力を向上させつつ、習得する。

**【概要】** 本科目は、英語によるプレゼンテーションを十分におこなうことのできる知識と総合的な英語運用能力を身につけることを目的とする。英語によるプレゼンテーションには、スピーキングの基礎力が必要となることは言うまでもないが、それとともに、総合的な英語運用能力、特に、聴衆の言語的特徴を知り、スピーキングの内容について英語の諸情報を的確に収集しつつ、それを論理的で説得力のある形で発話するといった総合的な知識とスキル

が求められる。本科目ではこれらの知識とスキルについて、実践的な演習を通じて習得する。

#### 211220 翻訳入門演習

##### 【到達目標】

- ・多種多様な英文にできるだけ多く触れて慣れる。
- ・様々なタイプの英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に知る。

**【概要】** 日英語間の翻訳実習を中心とした演習である。翻訳力の基礎を養うために、多種多様な英文にできるだけ多く触れ、原文が伝達しようとしている内容を正確に読み取る力を養うとともに、読み取った原文の意味を適確な日本語で再現するために、日本語の表現力を養成する。そのためには、相当量の練習を重ねることが基本になる。教師が一方的に添削指導するだけでなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行ない、相互学習の場とする。中心となるのは、英語→日本語であるが、時に日本語→英語の翻訳も取り入れる。

#### 211221 通訳入門演習

##### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その基本的な内容を理解し、基礎的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な高度な母国語能力について、その基本的な内容を理解し、基礎的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解について、その基本的な内容を理解し、実践的に運用するための基礎力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけるための入門演習として、その性質や運用方法にかかわる基本的な力を初歩的な実践演習を通じて習得することを目標とする。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方について、初歩的な実践演習を通じて理解し、その知見を運用するための基礎を養う。

#### 211222 Study Abroad English

##### 【到達目標】

- ・Study Abroad において、英語力育成にかかわる本学が認めた授業科目を履修し、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングなど英語の四技能について、所定の学修成果をおさめ、実践的な語学運用能力を身につける。

**【概要】** 本科目は、国際英語学科の必修である海外の教育機関における Study Abroad にお

いて、英語力養成にかかわる授業科目を履修し、十分な学修成果をおさめた者に対して、その学修時間に応じて上限 10 単位を認めるものである。留学先での成績評価や学習報告などにより、十分な成果が認められない場合には、単位を認定しない。Study Abroad を通じて十分な英語力を身につけることにより、国際英語学科での勉学をより実質的なものとし、国内外を問わず、英語を実践的に運用できる力を養成する。

## 211223 Study Abroad Academics

### 【到達目標】

- ・ Study Abroad において、本学が認めた学科科目を履修し、国際英語学科の学問領域に関連した研究分野において所定の学修成果をおさめ、国際英語学科での勉学に有効に活用することができる力を養う。

**【概要】** 本科目は、国際英語学科の必修である海外の教育機関における Study Abroad において、国際英語学科の学問領域にかかわる授業科目を履修し、十分な学修成果をおさめた者に、その学修時間に応じて、上限 16 単位を認めるものである。留学先での成績評価や学習報告などにより、成果が認められない場合には単位を認定しない。Study Abroad を通じて学問研究に資する十分な学力を身につけることにより、国際英語学科での勉学をより実質的なものし、かつ、英語によって培われた専門的知見を国内外において活用する能力が求められる。

## ■ 発展演習

### 211301 時事英語

#### 【到達目標】

- ・ 英文記事を読むのに必要な語彙、文法や文体の基本的ルール、パラグラフの構成を把握し、時事英語を正確に読みこなす英語力を身につける
- ・ 国内外の最新時事について関心を持ち、関連した情報について知識を深める
- ・ 記事を読んで学んだ語彙や文章構成方法を活用し、最新時事について英語で意見を発信する

**【概要】** この演習では、日本国内外の最新のニュースを扱ったさまざまな形式の英文記事を読み、時事英語に特徴的な語彙、文法や文体の基本ルール、段落構成を把握し、習得する。記事で扱われる最新の時事については、そこで用いられる専門用語やその背景に関して自分で調べ理解を深め、さらに、記事にある書き手の価値観や意見を識別することを学ぶ。そして、習得した時事英語の語彙や表現、文章構成方法を実際に用いて、最新時事について自分の意見を英語で発信する。

## 211302 Critical Thinking

### 【到達目標】

The goal of this course is for students to be able to:

--identify their assumptions about how the world is, to develop critical thinking skills, and to recognize logical fallacies

--acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically

**【概要】** この授業では、まず、議論の構造を持つさまざまな文章の構成部分や他の多様な伝達情報の傾向を見極める。また、critical thinkingを通して種々の問題を解決することを学ぶ。その際、議論のなかにあるさまざまな価値基準や先入観を見極め、問題解決のための多様な代替案を比較検討することで、現実的かつより理路整然とした結論を導き出す。この授業では、公共の議論の場の言説におけるさまざまな議論を分析することに、特に焦点をあてる。

## 211303 3年次演習（国際英語）Ⅰ

### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について、その基本的な知識とスキルを身につける。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる基本的な情報収集能力、分析力、および論理的思考力を身につける。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究し、学術論文をまとめるために必要となる表現力を身につける。

**【概要】** 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第一段階であり、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みを理解し、研究課題の基本的な設定方法や研究課題に応じた資料や情報の収集の仕方を習得し、卒業論文執筆のための基本的な論理構成力や表現力を養うことを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究の概要についても理解し、卒業研究のための勉学を主体的に進めるための学習態度を涵養する。

## 211304 3年次演習（国際英語）Ⅱ

### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる学問的枠組みと研究手法について理解を深め、自らの研究内容の概要についての的確に理解する。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究するために必要となる情報収集能力、分析力、および論理的思考力を高め、自らの研究課題

に活用できる力を身につける。

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの諸分野を学問的に考究し、学術論文をまとめるために必要となる表現力を高め、短めの論文にまとめる力を身につける。

**【概要】** 本演習は、卒業論文研究へ向けた演習の第二段階であり、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、各分野の学問的考究の枠組みへの理解を深め、研究課題を具体的に設定し、その研究課題に応じた資料や情報の収集力、卒業論文執筆のための論理構成力や表現力を高めることを目的とする。あわせて、各分野の研究動向や先行研究についても、自らの研究課題にあわせて的確に理解し、卒業研究のための勉学を自律的に進めることができる力を涵養する。

### 211305 Third-Year Research Writing I

#### **【到達目標】**

The goal of Third-Year Research Writing I is for students to be able to:  
--edit and successfully revise their own essays  
--use a wide variety of sources such as books, periodicals, films, and reliable Internet sites in their research and writing  
--further develop their critical analysis skills directly related to academic writing

**【概要】** この授業は、2年次に学んだエッセイ・ライティングのスキルをふまえ、さらに発展させた内容になっている。学術的なエッセイを書く能力をさらに向上させることが到達目標であり、従って授業の多くはエッセイのテーマについてのリサーチ方法の習得や、各専門分野から選んだテーマについてより長文のエッセイを書き、それを自分で編集し修正することに費やされる。数回課せられる長文エッセイも、授業内でのアクティビティも、より高度な内容を求められている。

### 211306 Third-Year Research Writing II

#### **【到達目標】**

The goal of Third-Year Research Writing II is for students to be able to:  
--use the skills previously learned in the TWCU writing program to produce well-crafted 4-5 page academic essays  
--collect sources and prepare correctly an extensive works consulted  
--prepare students to write a successful Graduation Essay in their senior year

**【概要】** この授業は「Third-Year Research Writing I」の内容をふまえ、さらに発展させた内容になっている。4年次の卒業論文執筆に備えて、研究論文を書く力をさらに伸ばすことが到達目標となっている。従って授業時間の多くはエッセイのテーマについてのリサーチ方法の習熟や、各専門分野から選んだテーマについてより長文かつ洗練されたエッセイを書き、それを自分で編集し修正することに費やされる。数回課せられる長文エッセイも、授業内でのアクティビティも、より高度な内容を求められている。

## 211307 英語文学演習（演劇）

### 【到達目標】

- ・演劇作品のさまざまな様式を理解し、文学作品としての演劇を読解する力を身につける。
- ・演劇という表現ジャンルの特質を理解する。
- ・演劇作品の持つ文化的社会的影響力の特質についての理解を深め、実証的な研究への応用力を身につける。

**【概要】** 英語表現の一ジャンルとしての演劇の特徴を理解した上で、本演習では、イギリス、アメリカおよびイギリスやアメリカと関係の深い英語圏文化を中心に、代表的な戯曲をいくつか取り上げ、英語で精読する。戯曲と実際の上演の関係を考慮しながら、科白やト書きの解釈の仕方や、ポーズのとり方の考察なども含め、演劇作品の読解に必要な知識を習得させる。さらに、できるだけ舞台上演のビデオも見せながら、英語で書かれた演劇の文学的・文化的・社会的意味を考察させる。

## 211308 英語文学演習（小説）

### 【到達目標】

- ・近代・現代小説の narrative を正確に読解し、その正確な読解を通じて、作品解釈のための確かな素地を養う。
- ・言語表現に際して生じる諸問題について理解し、それぞれについて作家たちが取る立場を把握できるようになる。
- ・正確な読解をもとに、批評のための論点を的確に整理して表現できるようにする。

**【概要】** この授業では英語圏の国々において書かれた小説作品の読解を対象とする、演習形式の授業である。テキストを綿密に読み進めつつ、学生からのアクティブな参加と教師からのフィードバックに基づく活発な議論を前提として、人間社会の歴史的推移、人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティなど種々の視点から作品の分析と解釈を試み、個々の作品のみならず、その作品を成立させた大きな文化的・歴史的コンテキストのより深い理解を得ることを目的とする。

## 211309 英語文学演習（詩）

### 【到達目標】

- ・英詩の韻律とリズムについての基礎を理解し、具体的な作品読解に応用できる力を身につける。
- ・英詩表現が有するさまざまな表象的特質（シンボリズム、メタファー、作品の構造など）の基礎を理解し、具体的な作品読解に応用できる力を身につける。

**【概要】** 英米のみならずその他の国も含め、英語で書かれた詩の作品をとりあげて、その

緻密な分析と解説を試みる演習形式の授業である。詩的言語で表現される詩人の発見ともいべき新鮮な認識を読み取るために、詩の構成要素である主題、イメージや象徴などの比喩、構造、リズムや詩の調子などに注意を払いながら詩の解説を試み、発表することが求められる。その後発表にもとづく討論があり、詩人が追求している詩的言語の可能性を、追体験することにより詩の本質を学ぶ。

#### 211310 英語文学演習（児童文学）

##### 【到達目標】

- ・ 児童文学の本質についての理解を深める。
- ・ 英米の「子ども」観について考察を深める。
- ・ 児童文学作品をめぐる文化的背景を多角的に理解する。
- ・ 作品の「ことば」を手がかりに、自分の力で読解・分析する能力をさらに涵養する。

**【概要】** 人間・社会・世界に目を開かせ、自己確認と自己確立を促し、楽しませつつ深く考えさせるという児童文学の本質を、具体的な作品の原書を講読することで理解を深める演習である。英語圏児童文学を主たる題材とし、リアリズムやファンタジー等の種々のサブジャンル、幼年向けからヤングアダルトまでの読者対象など、できるだけ多様な作品を選んで読み解く。作品や作家の背景についても合わせて学ぶ。各自が原書を読み進めるだけでなく、グループでのディスカッションやレジュメを作ったの口頭発表など、ピアラーニングも取り入れる。

#### 211311 英語文学演習（比較文学）

##### 【到達目標】

- ・ 比較されるテキストの読解力を身につける。
- ・ 比較すべきトピックを見いだす力を習得する。
- ・ 比較文学の理論や方法に基づいてテキストを分析することができるようになる。
- ・ 比較をトピックに文学テキストを論じることができるようになる。

**【概要】** 比較文学の理論や方法に関するテキストを読み、理解することが本演習でまず求められる。その上で、英語圏、および英語圏の文学テキストとの関係で、その中のいくつかの理論や方法にスポットを当て、実際のテキストを題材に議論を通して比較する方法を学んでいく。あるテキストと別のテキストの影響関係を実証的に研究する方法や、国や地域といった文化的コンテキストの異なるテキストを対比する方法、文化的コンテキストの異なる文学の受容を研究する方法などを実際のテキストを題材に、議論を通して実践していく。

#### 211312 英語文学演習（映像と言語表現）

##### 【到達目標】

- ・ 英語圏で作成された映像による表現の歴史や特徴を理解する。

- ・英語圏で作成された映像における言語表現のさまざまな役割を理解する。
- ・英語圏で作成された映像と言語表現をテキストとして読解する手法を理解する。
- ・上記の点を、議論を通して論じることができるようになる。

**【概要】** 映像とは映画、テレビ、写真などの画像であるが、映像は映像のみで完結することは少なく、言語表現を伴うものが大半である。本演習では、一つには英語圏で作成された映像と言語表現の結びつきを歴史的な文脈や媒体の特徴と併せて考察し、議論することを目標とする。また、映像が言語表現と併せて用いられる点に着目し、言語表現との関係で映像を理解するだけでなく、映像が言語表現として翻訳され、見るものに理解される仕組みを、様々な例に関して議論し、理解を深めることを目標とする。

### 211313 英語学演習（意味論）

#### 【到達目標】

- ・意味論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語の「意味」を総合的に分析する力を養成する。

**【概要】** 本演習は、意味論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように「意味」が成り立っているかを考察し、理解を深めることを目的とする。実際の英語使用における「意味」の諸相を観察し、分析する。さらに、例えば、文学、意味論の応用としての辞書、言語間で意味をやり取りする通訳・翻訳などを含めた様々なジャンルにおける「意味」を多角的に論じる。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

### 211314 英語学演習（語用論）

#### 【到達目標】

- ・語用論の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを多様な英文に適用し、英語を発話のレベルで総合的に分析する力を養成する。

**【概要】** 本演習は、発話行為論、ポライトネス理論、含意のメカニズムに関する理論、会話分析、談話分析、二言語間の語用論など、語用論の諸理論からのアプローチにより、具体的な英語使用の場で、どのように英語が発話されているかを多角的に考察し、理解を深めることを目的とする。あわせて英語教育への応用の仕方についても論じる。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

### 211315 英語学演習（音韻論）

#### 【到達目標】

- ・「音素」という概念について理解を深める。
- ・言語間の音構成（音素システム）や音節構造の違いを理解する。
- ・様々な言語に見られる強勢パターンやイントネーションの働きについて理解する。

**【概要】** 母音や子音の音声的特質と役割の違い、言語ごとの音の種類や音節構造の違い、言語使用者による音声の認知や識別などの問題を探ることによって、言語における「音声の働き」について学ぶ。「音素」という概念の理解を深めることが中心となるが、個別音だけでなく、「超分節音素」と言われる強勢やイントネーションの特徴や働きについても考察する。音韻論には、これまでさまざまな理論や学説が提唱されてきたが、それらの理論的な側面にも触れる。

#### 211316 英語学演習（形態・統語論）

##### 【到達目標】

- ・英語を中心とする様々な言語における単語・文構造に関連する現象について、客観的に分析する手法を習得する。
- ・形態・統語論に関わる先行研究における分析方法や、それらの特徴を理解する。
- ・上記2点を通じて、英語、ひいては人間の言語の構造に対する理解を深める。

**【概要】** 主に1980年代以降の英語で書かれた先行研究を参照しながら、形態・統語論に関わる具体的な資料を客観的に分析し、考察を加える。英語、日本語、その他の言語の多様な形態・統語現象の中に規則性を発見し、人間の脳に内在する認知能力の一部を成す文生成のメカニズムを探る。一見互いに異なる構造の間に見られる一般性、および言語間の共通性と差異についての手がかりを確かめていく過程を経験することによって、言語を見る眼を養うとともに、資料を分析する能力、議論を組み立てる能力を強化し、自然界の一部であり自らのこころの一部でもある「人間の言語能力」に迫ろうとする人間の知的営みを体験する。

#### 211317 英語学演習（社会言語学）

##### 【到達目標】

- ・社会言語学の諸理論の基本を理解する。
- ・それらを英語と社会の関係の分析に応用する力を養成する。

**【概要】** 本演習は、英語の言語使用者（出身地・社会階層・年齢・性別・民族的バックグラウンドなど）と言語使用（レジスターなど）に関わる社会的変異の諸相を、多角的かつ具体的に考察することを目的とする。一次資料および代表的論文を読み、社会言語学の諸理論を用いて、自らが選んだ英語にかかわる社会的変異を観察し、分析する。各自の発表形式で授業を進め、資料収集、文献検索、データ分析の方法などを習得させる。

#### 211318 児童英語教育演習

##### 【到達目標】

- ・児童への英語の高度な指導法を理解する
- ・児童への英語の高度な指導法を適切に選択して授業を立案することができる
- ・適切な指導法を用いた児童への英語の高度な指導力を養う

**【概要】** さまざまな場面での児童英語の指導法についての理解を高めて、技能別の指導法のみでなく、技能を統合した児童向けの指導法を理解する。また、英語授業のDVDの視聴や授業参観をして、批判的に英語の指導法を分析する。さらに、目的に応じた英語の指導法を選択した上で授業案を作成する。それをもとに模擬授業を実施する等して実践的な英語指導力を向上させるのみでなく、自分の授業を振り返り、内省して、改善策を提示する等して自律した教師を目指す。

#### 211319 第二言語習得演習

##### 【到達目標】

- ・第二言語習得の特定のメカニズムに関する専門知識を習得する
- ・第二言語習得の研究を立案して実施することができる
- ・第二言語習得の研究結果を発表する力を養う

**【概要】** 本演習では、第二言語習得研究の中の特定の分野をひとつ、もしくは、複数取り上げて、その分野の研究論文を学術的に作成・発表する力を養うことを主な目的とする。そのために、まず、取り上げられた分野のデータ収集・分析方法等の研究手法を整理しながらまとめて、その研究手法を用いた研究計画案を立て、その案に沿って実際に実験や調査を実施してもらう。そこで収集されたデータを分析し、分析結果を考察して研究報告書を作成し、さらに、その報告書の内容を口頭で発表する力を育成する。

#### 211320 Classroom English 演習

##### 【到達目標】

- ・英語での英語の授業の指導法を理解する
- ・英語での英語の授業を立案することができる
- ・英語での英語の授業をする英語力および指導力を養う

**【概要】** 本演習は英語の授業を英語のみで実施する力を養うことを主な目的とする。そのために、まず内容重視教授法や内容言語統合型学習等のように、英語のみで授業をする教授法の意義やその指導法、教室で使用する英語表現等について理論的かつ実践的に詳説する。また、授業のビデオの視聴や公開授業の参観等を通して、このような手法での英語の授業の理解を深める。さらに、実際に指導案を作成して模擬授業を実施した後、その内容についてグループでディスカッションする等して、英語のみで実施する英語の授業について考察を深める。

#### 211321 翻訳演習 A

##### 【到達目標】

- ・多種多様な英文の中から、文芸作品の英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・文芸作品の英文の多様な特徴を適確に掴む。

・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に学ぶ。

**【概要】** 日本語と英語の間の翻訳実習を中心とした演習である。「翻訳入門演習」を土台として、Aでは文芸作品の翻訳実習を行なう。一般・児童など読者対象を限定せず、文芸作品（ノンフィクションも含む）の表現形式の多様性とその意味を明確に理解し、それを訳出する練習を行なう。教師が一方的に添削指導するだけではなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行い、相互学習の場とする。中心となるのは、英語→日本語であるが、時に日本語→英語の翻訳も取り入れる。

## 211322 翻訳演習 B

### 【到達目標】

- ・多種多様な英文の中から、実務文書の英文テキストを正確に読み取る力を養う。
- ・実務文書の英文の多様な特徴を適確に掴む。
- ・読み取った英文の意味を適確な日本語で再現する方法を実践的に学ぶ。

**【概要】** 日英語間の翻訳実習を中心とした演習である。「翻訳入門演習」を土台として、Bでは実務文書の翻訳実習を行なう。様々な分野にわたる実務文書に用いられる英文のヴァリエティを知り、それを訳出する練習を行なう。教師が一方的に添削指導するだけではなく、履修者同士の訳文の比較対照や互いの訳文批正なども行い、相互学習の場とする。中心となるのは、英語→日本語であるが、時に日本語→英語の翻訳も取り入れる。

## 211323 通訳演習 A

### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な高度な母国語能力について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要な言語の文化的背景知識や時事的問題への理解を深め、その知見を実践的に応用できる運用能力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要なこれらの能力や教養を身につけることを目的とする発展的実践的演習である。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方についても理解を深め、その知見を通訳に生かすための運用能力を養う。「通訳演習 A」では、主に、英語の聞き取り訓練や英日・日英の逐次通訳を中心に扱う。

## 211324 通訳演習 B

### 【到達目標】

- ・通訳に必要な高度な外国語能力（英語）について、その実践的運用能力を養う。

- ・通訳に必要となる高度な母国語能力について、その実践的運用能力を養う。
- ・通訳に必要となる言語の文化的背景知識や時事的問題への理解を深め、その知見を実践的に応用できる運用能力を養う。

**【概要】** 通訳は、高度な母国語能力と外国語能力（英語）、言語の文化的背景を含む幅広い教養などを必要とする専門職である。本演習は、通訳に必要となるこれらの能力や教養を身につけることを目的とする発展的実践的演習である。あわせて、グローバル化する国際社会における通訳の多様な役割やニーズ、社会的貢献のあり方についても理解を深め、その知見を通訳に生かすための運用能力を養う。「通訳演習 B」では、主に、異文化間コミュニケーションやアイデンティティの問題について実践的に対応できる力を養う。

### 211325 Professional English 演習 A

#### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、活字や文字で伝達・発表するタイプのもの概要を知る。
- ・活字や文字を媒体とする英文の種類と文体的特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

**【概要】** さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。「Professional English 演習 A」では、出版翻訳、英語広報、ニュース、映画字幕など、活字や文字を媒体として表現される英文の種類とそれぞれの文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

### 211326 Professional English 演習 B

#### 【到達目標】

- ・本学における Professional English 3 領域（翻訳・通訳・実務英語）の中から、口頭で伝達・発表するタイプのもの概要を知る。
- ・口頭伝達で発信される英語の多様性と特徴を知る。
- ・実践的な学びを通して、多様な英語表現に触れる。

**【概要】** さまざまな英語表現の基礎を実践的に学ぶ演習である。「Professional English 演習 B」では、各種通訳、観光ガイド、商品説明など、口頭で表現されるタイプの英文の種類と文体的特徴を学ぶとともに、丁寧表現、婉曲表現、慣用句など多様な英語表現にも触れる。教師が一方的に指摘するのではなく、履修者同士によるディスカッションを軸にした相互学習の場とする。

### 211327 4 年次演習（国際英語） I

#### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の特質と広がり  
を理解し、学生自らの卒業研究の研究課題について、その研究内容とオリジナリティを  
理解する。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の先行研究への  
理解を深め、研究手法についても十分に習熟することができる。
- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある論文にまとめるた  
めの表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法に習熟するとともに、学生自らの研究成果の学問的・  
社会的意義を明確に理解する。

**【概要】** 本演習は、卒業研究を進めるための発展的・実践的能力を習得するための4年次  
生必修の演習であり、3年次演習で身につけた知見と能力を伸ばし、卒業研究の成果をまと  
めるにふさわしい実力を涵養することを目的とする。演習は、イングリッシュ・スタディ  
ーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、それぞれの専門分野における重要な文献資  
料等を綿密に考察するとともに研究成果を適切にまとめるための論理構成力や表現力を養  
い、卒業研究を自律的に進めるための力を養う。

#### 211328 4年次演習（国際英語）Ⅱ

##### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の特質と広がり  
に習熟し、学生自らの卒業研究の研究課題について、その研究内容とオリジナリティを  
正確に理解する。
- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各学問分野の先行研究への  
十分な理解をもとに、各分野の研究手法を実践的に運用できる力を身につける。
- ・学生自らの研究課題に関する問題意識と論証を論理的で説得力のある学術論文にまと  
めるための十分な表現力を身につける。
- ・学術論文執筆のための具体的手法への習熟をもとに、学生自らの研究

**【概要】** 本演習は、卒業研究を進めるための実践的能力を伸ばし、学生自らの卒業研究を  
十分な学問的成果としてまとめるための力を養う4年次生必修の最も発展的な演習である。  
演習は、イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野に分かれ、それ  
ぞれの専門分野における重要な文献資料等の綿密な考察や、これまでに培った研究成果を適  
切にまとめるための論理構成力や表現力をもとに、学問的社会的に意味のある卒業研究を仕  
上げるために必要な能力を養う。

## ■卒業論文

### 211401 卒業論文

#### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野の学問的特質を理解した上で、学生自ら、オリジナリティのある研究テーマを設定することができる。
- ・学生自らの設定した研究テーマにそって先行研究や各種資料などを収集・分析する力を養う。
- ・学生自らの問題意識や設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。
- ・論理的で説得力のある表現により、研究成果を学問的社会的に意義のある論文にまとめる力を養う。

**【概要】** 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、先行研究や各種資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程での集大成として論文を英語で執筆する。3年次演習や4年次演習を通じて得られた、各学問分野で必要となる知見や方法論を十分に生かしつつ、各担当教員が個別に指導をおこなう。提出された卒業論文は、複数の教員から成る主査・副査体制により、口述試問を実施した上で審査をする。

### 211402 Final Presentation

#### 【到達目標】

- ・イングリッシュ・スタディーズ、英語教育、英語キャリアの各分野の学問的特質を理解した上で、学生自ら、オリジナリティのある研究テーマを設定することができる。
- ・学生自らの設定した研究テーマにそって先行研究や各種資料などを収集・分析する力を養う。
- ・学生自らの問題意識や設定した仮説を、論理的・批判的考察により実証する力を養う。
- ・論理的で説得力のある表現により、研究成果を学問的社会的に意義のある形で公表する力を養う。

**【概要】** 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマを設定し、先行研究や各種資料を収集・分析して仮説をたて、論理的・批判的考察を積み重ねることによって仮説を実証し、得られた結論を説得的に表現する、という一連の学問的営みを通じて、学士課程の集大成として成果をまとめる。3年次演習や4年次演習を通じ、各担当教員による個別の指導を得て研究成果を、英語による主論文および副論文（研究内容に即した成果物）としてまとめ、この主論文と副論文をもとに英語による Final Presentation を実施し、複数の教員から成る主査・副査体制で審査をする。